

まちづくり提言の公表（令和6年9月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
熊毛中学校通学バス導入について	熊毛地域に住んでおり、子どもはいずれ熊毛中学校に通うことになりましたが、私達の住んでいる自由ヶ丘から熊毛中学校まで自転車で1時間近くかかります。今までの卒業生の方々も自転車で通学していたのも承知です。しかし、夏の猛暑は年々ひどくなり、暑い期間も長くなっていますので、校区の中でも端にある自由ヶ丘・幸ヶ丘から通学バスの運行をお願いしたいです。検討をよろしくお願いいたします。	熊毛中学校に通学する生徒につきましては、「周南市立熊毛中学校生徒の通学援助条例」に基づき、対象となる方にスクールバスによる通学援助を行っております。現在のところ、条例に定める援助の対象者以外の方に、スクールバスによる通学援助の実施は予定しておりません。 今後も学校、地域や関係機関・団体等と連携・協力を図りながら、生徒の登下校時の安全確保の充実に努めてまいります。	学校教育課
徳山動物園西側へ照明器具の設置及び横断歩道の視認性の改善について	徳山動物園西側の歩道は夜間照明が不足しており、転倒や事故のリスクを高めていると思うので照明器具の設置を提案します。また、動物園南側の横断歩道は視認性が低いので路面標示を分かりやすくし、停止線を設置したり県警と連携して啓発活動を行うと良いと思います。動物園西側の工事がいつ終わるのか教えてほしいです。	歩道に照明灯の設置予定はありませんが、南側交差点には今年度中に照明灯を設置する計画です。また、横断歩道の視認が低いため、祐綏神社側に隅切りを行い、安全性を確保いたします。 動物園西側の道路工事については、現在、動物園リニューアル事業に合わせ歩道の拡幅を進めており、その後に歩道整備と車道の舗装工事を行う予定で、令和10年度の完成を目指しています。	道路課
市民館跡地の小ホール建設について	周南地区には既存施設として、文化会館をはじめ県総合庁舎のさくらホール等、室、量的に十分な設備が完備されております。これらの施設の一般向け使用料金を引き下げることにより、使用回転率を向上させることができると思います。それにかかる費用も新規会館建設に比べればわずかなものです。新規に箱物を増やせば、維持・管理費が将来にわたって負担になります。計画は即時中止すべきです。	ご認識のとおり、市内には文化会館をはじめ、学び・交流プラザやサンウイング熊毛など複数のホールがあり、それぞれの目的や用途に応じて使い分けがなされております。 例えば、文化会館の大ホールは、新幹線が停車する徳山駅に近く、交通の利便性も高いことから、県内で開催される興行イベントの受け皿として、質の高い舞台芸術を提供する集客力の高い施設となっています。 一方、学び・交流プラザの多目的ホールは、生涯学習の成果発表などを行う300人規模のホールとして、演奏会や講演会、また可動客席を収納することで、会議やレクリエーション行事、軽運動など、多目的に利用されています。 改めて見ますと、約1,800席を有する文化会館は、市民の方が「日常的な活動の場」や、「発表の場」として利用するには広すぎ、反対に学び・交流プラザで本格的な演奏会や演劇などを開催・鑑賞するには、音響や客席、控室、バックヤードなどの機能が十分ではなく、施設によって一長一短があるものと感じております。 市といたしましては、市民の皆さまに、日頃の文化芸術活動の発表の場として、そして、本物の文化芸術の魅力に触れる場として、使いやすいながらも設備が整った、これまでにない、ここにしかない、そうした舞台を提供し、触れる人全てに、感動と興奮、こころの豊かさをもたらしていくことで、本市の文化レベルとまちの魅力のさらなる向上を図ってまいりたいと考えております。	企画課
再生可能エネルギーを利用した街づくりについて	周南市が抱えている喫緊の課題は異常気象対応です。今年も猛暑でしたが、来年、再来年も「いまだ経験したことがない猛暑、暴風雨、超高温、超寒波の到来」が現状では間違いなくやってきます。そこで全国に先駆け、再生可能エネルギーを利用した街づくり取り組むことを提案します。再生可能エネルギーの導入は、異常気象への対応策として有効な手段となり得ます。具体的には、風力発電設備は洋上・陸上・山林に設置し、周南市で消費エネルギーはすべて再生可能エネルギーで供給するというモデル自治体として全国に発信していけたらと思います。	本市では地球温暖化防止対策として、再生可能エネルギーの導入促進、二酸化炭素排出量削減対策の推進、環境にやさしいライフスタイル、新エネルギーの利活用等に取り組んでおります。 市内で消費されるエネルギーの全てを再生可能エネルギーで供給するには、相当量の電力、大規模な発電設備が必要であり、さらにコストや立地条件、発電が自然状況に左右されるなど多くの課題があります。 今後も技術の進展や社会情勢などに注視し、再生可能エネルギーの導入をどのように促進していくか、市民や事業者のご意見も参考にしながら、検討してまいります。	環境政策課
美術博物館について	芸術は日々の心の潤いです。美術博物館は平成7年に開館し来年は30周年になるので、特別展を開催してはどうでしょうか。	美術博物館は平成7年に開館し来年は30周年になります。開館30周年の記念となる特別展を令和7年度に実施を検討しており、現在調整中です。	文化振興課
子育て支援センターの利用時間延長について	現状利用時間は午前中が11時30分までですが、実際には11時を過ぎたら片付けと全体遊び、11時20分頃には退所となります。午後についても同様です。そのため大変利用しにくいので、利用時間を16時30分まで延長してほしいです。 他市では午前午後を通して利用可能など多いと聞きます。ご検討よろしくお願いします。	現在、コロナ禍の時期より、片付けや遊具等の消毒などの時間確保のため、午前・午後ともに終了時刻を設定しております。利用状況等を踏まえ、午前・午後を通して利用できる体制づくりを今後検討してまいりたいと思います。	こども保育課